

こんなこと
やっています
やりました



美工 24 期 片寄 勝

神戸すずらん歌舞伎

神戸すずらん歌舞伎の役者として舞台上で演じています。7月1日、(公財)神戸市民文化振興財団主催で北区のすずらんホール(500人収容)に大勢のお客様に来場いただき、「寿曾我対面」の演目を上演。東京から来ていただいたプロの方の生演奏(三味線、笛、太鼓)で感動していただき、素人の歌舞伎役者として生涯の良い思い出となりました。今回は主役の曾我五郎役で初めての大役でした。美工や茶道部の仲間、地域交流会のメンバーも駆けつけてくださり、有難かったです。私と神戸すずらん歌舞伎との出会いは、約4年前に淡河町北僧尾に現存する日本最古の農村歌舞伎舞台で、平成の大改修のこけら落とし歌舞伎が上演され、その時の体験教室に参加したことがきっかけでした。人前で大きな声で話すことが苦手であったことを考えると意外でした。今年4月には北区の無動寺の本堂で奉納歌舞伎を演じました。また、11月4日には北区の大歳神社境内舞台で公演の予定です。



神戸すずらん歌舞伎 プロフィール

1999年度から行われている農村歌舞伎体験教室の終了生を中心に結成。神戸市北区に現存する農村歌舞伎舞台での上演会のほか、寺社、小学校等で年間7、8回の公演を行っています。結成から約10年間、故三代目市川箱登羅丈に、現在は東京のNPO法人「伝統文化みらい塾」主宰の立花十郎先生に指導を受けています。今年の11月21日と28日にも体験教室が開かれ、台詞まわし、歌舞伎化粧、衣装着付けの体験も予定されています。興味のある方はぜひご参加下さい。

問合せ先：神戸すずらん歌舞伎代表
竹内 隆 090-8980-7875

編集後記：楽屋にお邪魔してプロの方のメイク、着付け、豪華な衣装に感動しました。また素人とは思えない舞台での演技“掛け声、拍手”見得をした時にはおひねり(中身は飴)を投げ、大盛り上がりで楽しく見応えがありました。一度別の自分になってみるのも・・・

音文 24 期 藤井 眞弓